

横芝小学校

Aチームが健闘

第11回小学校駅伝大会



ンスクラブが、スポーツを通じて、近隣小学校の子どもたちに交流を深めてもらおうと開催しているもので、今回で11回目。

コースは池を周回するもので、子どもたちは「がんばれー/あと一息!」と応援にかけつけた父母や先生、そして友達の声援を受けながら、抜きつ抜かれつの接戦を繰り広げていました。横芝チームの結果は次のとおりです。

雲一つない好天に恵まれた12月4日、小学校対抗駅伝大会が、ふれあい坂田池公園を会場に行われ、横芝町・松尾町・芝山町・蓮沼村の小学校から参加した5、6年生11チームが母校の名誉をかけて競いあいました。この大会は、総武中央ライオ

- 5年生の部 優勝 横芝小学校A
- 6位 大総小学校
- 7位 横芝小学校B
- 9位 上堺小学校
- 6年生の部 優勝 横芝小学校A
- 5位 大総小学校
- 8位 横芝小学校B
- 11位 上堺小学校

さわやか子どもに拍手!!

社会教育指導員 伊藤はる

なやみを希望を話しあい、学びあう場を求めて 家庭教育学級について (その1)

中学生が、強迫、いじめにあい被害者であるのに、学校職員には、非行グループの一員としてしかとりあげられず、理解されないで、とうとう自分で自分の生命を絶ってしまったというショックな事件、また母親が「わが子を可愛いと思えなくなってしまうといううなげきを耳にします。ここまで極端な事柄でなくても、日常の中で子どもの成長のさまたげになるさまざまな問題がありますね。家庭内で起こった問題など私的なことだからと、ただ悶悶としていては解決の方法は見出せませんね。これ等の諸問題の真相は何か、原因はどこにあるのか、問題点は何かを掘り起こし、しほり出し、解決の方向を見出す…等々の為に話しあう、学びあう場が欲しいと思いますね。この場の一つが家庭教育学級であると思います。

過日、町教育委員会で、小学生保護者全員を対象に行われたアンケートによりますと、「家庭教育学級を開催する」としたら参加を希望しますか」という問に対し、六十八パーセントという多数の人が「希望します」との回答を寄せられました。これはとりもなおさず、家庭教育学級への関心の高さを示しているものと解していいものですね。

教育とか、学級とか申しますと、過去のスタイルの学校教育、並べられた机にむかい、先生の講義を聞く、一方通行のつめ込みなど、固いイメージが浮かびますか。皆さんはどのような学級を想像されますか。私は生涯学習時代における、家庭教育学級のあり方を求め、実践できたらしいなあと思っています。具体的にはどんな構想をもっているかは次回にゆずります。皆さんからも、家庭でのより望ましい子どもの育て方など、実態をお知恵をお寄せください。

八角 三枝
自が命断ちたる友のただ虚しコス
モスの花美しき今朝

西山満里子
アメリカの輸入スイカの並む見つ
つ浪費と思ひスパーを出づ

鈴木 やす
故里の匂ひをどうぞと友よりの楓
そへたる秋味届く

中越美代子
妻に手をただに委ねる義弟よ命尽
きゆくその瀬戸際を

佐瀬 初音
群雀音符のごとく電線に囁りあ
り秋の夕暮れ

斎藤 正吾
螭螂の食ひ残したる雄の骸落葉の
如く秋の過ぎゆく

齊藤 要
大利根の枯草の中に落つる陽は遠
く展げし常陸野を染む

萩原 信一
はるばると京都より来しいとこ
り昔話がごちそうとなる

向後 房
聖戦を信じて散りし若桜今侵略と
ふ風にさまよふ

斎藤 秀男
割る柿の小さきは胃のなき夫がと
り二人して食ぶ夜の食卓に

選者 斎藤つね子

